

令和4年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	SBIR (Small Business Innovation Research) 制度の抜本拡充			担当部局庁	科学技術・イノベーション推進事務局	作成責任者	
事業開始年度	昭和5年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	参事官(イノベーション推進担当)	武田 憲昌	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律 (平成20年法律第63号)第2条、第34条の8～14			関係する 計画、通知等	「経済財政運営と改革の基本方針2022」(令和4年6月7日) 「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」(令和4 年6月7日閣議決定) 「統合イノベーション戦略2022」(令和4年6月3日閣議決定)		
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	スタートアップを育成する際、公共調達を活用が重要であり、公共調達を見据えた技術開発支援であるSBIR制度に基づく指定補助金等の拡充を行うとともに、スタートアップ又はスタートアップが加わった一定の要件を満たすコンソーシアムに限って支出できる特別枠を設定する。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	①SBIR制度の支援対象に実証フェーズを追加し、課題設定、実現可能性調査、実用化開発、実証まで一気通貫で支援。 ②スタートアップシーズと省庁・自治体ニーズのマッチング・ピッチを開催。						
実施方法	委託・請負、補助						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求
		当初予算	-	-	-	-	事項要求
		補正予算	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	
	計	0	0	0	0	事項要求	
	執行額	0	0	0			
執行率 (%)	-	-	-				
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)	-	-	-				
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由			
			事項要求				
	計	-	事項要求				

活動内容 (アクティビティ)		①SBIR制度の支援対象に実証フェーズを追加し、課題設定、実現可能性調査、実用化開発、実証まで一貫して支援。 ②スタートアップシーズと省庁・自治体ニーズのマッチング・ピッチを開催。									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
		関係省庁と連携して具体的なスキーム等を検討しているところであり、今後の予算編成過程等を通じて検討	関係省庁と連携して具体的なスキーム等を検討しているところであり、今後の予算編成過程等を通じて検討	活動実績	-	-	-	-	-	-	
				当初見込み	-	-	-	-	-	-	
単位当たりコスト		算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
		-			単位当たりコスト	-	-	-	-	-	
					計算式	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	
		関係省庁と連携して具体的なスキーム等を検討しているところであり、今後の予算編成過程等を通じて検討	関係省庁と連携して具体的なスキーム等を検討しているところであり、今後の予算編成過程等を通じて検討	成果実績	-	-	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		-									
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策		-							
		施策		政策評価書 URL	-						
			該当箇所	-							
	取組事項	分野:	文教・科学技術	2. イノベーションによる歳出効率化等							
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/report_211223_2.pdf								
該当箇所		P101 13b.スタートアップ・エコシステム拠点都市への支援や新しい日本版SBIR制度の促進など、スタートアップ創出・成長の支援等、イノベーション・エコシステムの形成に向けた取組の推進。									

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	スタートアップの育成は日本経済のダイナミズムと成長を促し社会課題を解決する鍵であるため、社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	我が国は、米国に比してスタートアップに支出されるSBIR制度に基づく補助金等の支出規模が不十分であるなどの課題が存在している。スタートアップを育成する際、公共調達の利用が重要であり、公共調達を見据えた技術開発支援であるSBIR制度に基づく指定補助金等の拡充は、国が行うべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」、「経済財政運営と改革の基本方針2022」等において、SBIR制度によるスタートアップへの支援の抜本拡充を図ることとされており、優先的に実施すべき事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	関係省庁と連携して具体のスキーム等を検討しているところであり、今後の予算編成過程等を通じて検討
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果		
	改善の方向性		

外部有識者の所見			
行政事業レビュー推進チームの所見			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
備考			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
令和3年度			
資金の流れ (資金の受け取り先が何を しているかについて補足する) (単位: 百万円)	※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 関係省庁と連携して具体のスキーム等を検討しているところであり、今後の予算編成過程等を通じて検討 </div>		